

令和7年度 12月22日号



南っ子だより

～上市町立南加積小学校 学校だより～



本校のHPのQRコード

「南(みんな)で」目標に向かって取り組んだ2学期

「九九を練習したので、聞いてください」。担任の先生と猛練習の後、最終合格を目指して2年生が校長室にやってきます。緊張した表情で九九を唱え、「合格です」と言わると、顔全体に笑みが広がります。繰り返し、何度も…、数え切れないほどの練習を重ねたことでしょう。「むずかしかったけれど、あきらめないで続けたら、できるようになった」「先生と、友達と、家の人と…いろいろな人と一緒にがんばったら、できるようになった」。この達成感、充実感を、ずっと心に留めていてほしいと思います。今年に限らず、どの年度の2年生も、この時期は九九の暗唱に励み、力を伸ばしています。九九の学習を通して身に付いた学ぶ姿勢が、この先も、あらゆる場面で子供たちの助けになることを願っています。

活動内容や方法は様々ですが、どの学級の子供たちも、「南(みんな)で」目標に向かって取り組んだ2学期となりました。授業や学校行事の中で様々な人と関わりながら、一人一人が努力をしている姿がみられました。自分のゴミでなくとも拾っている子供、話す人の方へ体を向け、真剣に耳を傾けている子供、相手の目を見て心を込めて挨拶をしている子供、日常の小さな出来事にも、一人一人のあたたかさやその子らしさが表れていました。自分ががんばりを、誰かがみててくれる。そして、励ましてくれる。こんなささやかな嬉しさを子供たちが味わうことができるよう、教職員一同、これからも南っ子のよさを認め励ますとともに、またがんばろうと思える声かけをしていきたいと思います。2学期も、保護者・地域の皆様にはたくさんのご協力とご支援をいただきありがとうございました。子供たち、そして皆様にとってよい年を迎えるよう、ご祈念いたします。

11/22(土) 学習発表会・第42回「南(みんな)でジョイン」



日頃の学習の成果を発表したり、親子で工作を楽しんだりしました。ステージ発表では、多くの皆様にご来場いただき、子供たちに大きな拍手をいただきましたことに心より感謝申しあげます。

＜子供たちの振り返りより＞

- ・きょう、大きなふくろのげきをしました。おとうさんとおかあさんにほめてもらえてうれしかったです。(1年)
- ・帰つたら、お母さんが「じょうずだったね。大きいこえを出していたね」とほめてくれました。それをきいたわたしは、ほっとしてうれしかったです。(2年)

ご家庭でも、子供たちのがんばりにあたたかい声をかけていただき、大変嬉しく思います。ありがとうございます。

南加積保育園 歌・遊戯

1年



2年



3年



4年



5年



6年



プラスバンド部 演奏



募金活動に参加しました

総合的な学習の時間に「福祉」の学習をしている5年生が全校に募金を呼びかけ、赤い羽根共同募金の活動に参加しました。この募金は、自分たちの住んでいる町の身近な福祉活動に使われます。ご協力をありがとうございました。



12/16 上市町社会福祉協議会へ、南っ子のあたたかい気持ちを届けました。

手洗い指導

(全学年)

毎日の手洗いへの関心を高めるとともに、かぜ予防にも役立つことをねらいとして、手洗い指導を行いました。



ブラックライトで手の洗い残しを確認

はじめに、ブラックライトを使用して自分の手の洗い残しがあったところをチェックし、これから気をつけたいことをまとめました。次に、調理員さんの手洗いの様子をビデオで視聴し、衛生に関する配慮や意識の高さに感心とともに、手洗いの大切さを学びました。

きれいに手を洗う習慣が身に付くとよいです。

あいさつ運動

～生活委員会の取組～



計画・準備



本校は、「明るい挨拶」「あたたかな人間関係」「あったか言葉」を大切にしています。生活委員会の子どもたちが、南っ子の挨拶の輪が広がり、あたたかい関わりが生まれるようにとアイディアを出し合い、取り組んでいます。

「スターあいさつスタンプラリー」



「全校児童によるあいさつ運動」 (学年ごとに校門前であいさつ)



3学期の主な行事予定



1/ 1	木	(祝)元旦
8	木	第3学期始業式 校内書初大会
12	月	(祝)成人の日
16	金	PTA企画運営委員会 19:00
2/ 5	木	上市中体験入学(6年)
6	金	学習参観・学級懇談会
11	水	(祝)建国記念日
12	木	スキー・スノーボード教室(5・6年)
23	月	(祝)天皇誕生日
27	金	卒業を祝う会
3/17	火	卒業式
20	金	(祝)春分の日
24	火	修了式

「土日読書」の取組み(全学年) 12月～



読書を楽しむ南っ子が増えることを願い、朝の読書タイム(月)、学校図書館司書による読み聞かせ(金)等をしています。先月は、図書・情報委員会の子どもたちが考えた「読書bingo」の取組もありました。12月より、土日も読書を楽しみ、「ぐんぐん読書カード」に読んだ本を記録しています。家庭においても、読書を楽しむ時間が増えるとよいです。

【参考】文科省「読書の重要性」より引用

昨今「読書離れ」が叫ばれて久しいが、これからの時代を考えるとき、読書の重要性が増すことはあっても減ることはない。情報化社会の進展は、自分でものを考えずに断片的な情報を受け取るだけの受け身の姿勢を人々にもたらしやすい。自分でものを考える必要があるからこそ、読書が一層必要になるのである。「自ら本に手を伸ばす子供を育てる」ことが切実に求められているのである。